

商用車エンジン部品生産

ヤマザキ、量産ライン追加

【浜松】ヤマザキは、用車のエンジン関連部品を生産を始めた。同社工場（浜松市中央区）に自動車部品の量産ラインを追加し、商



社からの輸送用機器事業は従来、2輪車部品を中心に生産していたが、2023年から4輪車部品の受注を始めている。今回のライン追加により、4輪車用は計4ラインと▲自動車部品の量産ラインを追加したヤマザキの本社工場

なる。投資額は数千万円。月産数量は非公表。ラインに用いる設備は自社製の専用工作機械のほか、中古工作機械のオーバーホールや改造で用意した。これにより、新品の機械を購入する場合と比べて、投資額を大幅に抑えた。

ライン整備で得られた知見は、同社が注力している、中古機械のレトロフィット（改造による機能追加）を委託する「アフターマーケット」事業の展開に生かす。

また秋以降には、ベトナム工場（ハノイ市）での半導体製造装置関連部品の新規案件の量産を始める予定。